# 高浜町 議会だより

## 意見書第2弾提出!!


■ トピックス …… 2～3ページ
■ 監査報告 …… 4～5ページ
■ 一般質問 …… 5～10ページ
■ 各委員会報告 …… 10～14ページ
■ 質疑・討論 …… 15～16ページ
■ 議会出前報告会 …… 17ページ
■ 和田de路地祭・編集後記 …… 18ページ



第112号

発行・編集/〒919-2292 福井県大飯郡高浜町議会広報特別委員会 TEL 0770-72-7710　平成24年10月26日発行

意見書第2弾

## 新エネルギー戦略にもの申す!!

TOPICS

発委第8号

# 「革新的エネルギー・環境戦略」の見直しに関する意見書の提出

### 「革新的エネルギー・環境戦略」の見直しに関する意見書

政府は９月１４日、２０３０年代に原発稼働ゼロを可能とするとの方針が盛り込まれた「革新的エネルギー・環境戦略」を決定した。

高浜町はこれまで、原子力発電がエネルギー資源の乏しいわが国にとって、国の基幹電源として欠くことのできないものであるとする国策に基づき、原子力発電所の立地地域として協力してきたのであり、今回の原発ゼロ方針は町議会として誠に遺憾である。

また、この戦略では、原発ゼロを目指すとしながら「核燃料サイクルは中長期的にぶれずに推進する」との矛盾した方針が示されており、更に最終処分地の解決策が不明確であるなど問題の多い内容であると言わざるを得ない。

国のエネルギー政策は最重要な国家戦略である。資源の乏しい日本が今後とも繁栄を続けていくために必要なエネルギーはどうあるべきかの政策決定は、あらゆる課題について納得できる十分な検討を経て決定されるべきものである。

高浜町議会としては、昨年９月に政府に提出した「原子力事故被災地の早期復旧とエネルギー政策における原子力発電の堅持を求める意見書」の通り、原子力発電はエネルギーセキュリティ面、供給安定性、地球温暖化防止といった環境面からも優れた発電方式であり、安全を最優先の上で、今後とも一定程度の原子力発電比率が必要であるとの立場である。

政府においては、「革新的エネルギー・環境戦略」の抜本的な見直しを行い、現実的な政策とするよう強く要望する。

以上、地方自治法第９９条の規定により、意見書を提出する。

平成24年9月21日

福井県高浜町議会

賛成多数で採択

「原子力特別委員会報告P14」「討論P16」に関連記事を掲載しています!!





津波シミュレーション結果

## 高浜町も現在の想定値を上まわる予想!

TOPICS

福井県独自調査

# 津波予想が発表される

9月3日福井県危機対策・防災課が福井県における津波シミュレーション結果について公表されました。今回の趣旨は日本海西部に発生する津波については、国による活断層調査が実施されていないため、詳細な地形データや、過去の地震履歴等が不明であり、地震の規模や発生確率についても明らかになっていないことから、国が調査結果を示すまでの間の措置として、県が独自に断層モデル等の条件設定を行い実施の結果、「若狭湾海丘列付近断層」で地震が発生した際の浸水面積が298ヘクタール、推定域内人口(平地換算)3,927人が高浜町内で被災する予測結果が示されました。突然の公表に高浜町民の方々に大きな衝撃として受け止められました。昨年、配布されました津波ハザードマップでは2.5mの津波水位を想定して浸水範囲が示されていましたが今回、高浜町安土(釈迦浜)付近で最大5.9mの津波水位が想定されました。津波防災ハザードマップを新たにシミュレーションした見直しが必要となる状況にあります。

9月定例議会では理事者側との第1回目の会合を行い、今後の対応策等について話し合いました。新しい情報が入り次第町民の皆さまに広報することをお約束します。

日本海で予測される地震(活断層)の地図

災害廃棄物(震災がれき)の広域処理に係る住民説明会

TOPICS

震災がれき受け入れについて

## 住民説明会が開催される!

住民説明会（和田・保健福祉センター）

9月4日本会議終了後、災害廃棄物(震災がれき)の広域処理に係る住民説明会の報告を受けた。

受け入れの経緯、受け入れの詳細内容、高浜町内3会場での住民説明会の状況や参加者との質疑の内容について説明を受け、議員との質疑応答を行った。

隣町おおい町には、9月12日に議会に向けて、19日に住民に向けて、説明会を実施して、約80名が参加され、4名の方から質問があった。

高浜町での開催状況
- ★内浦公民館 … 参加者45名・質問者8名
- ★保健福祉センター … 参加者26名・質問者6名
- ★文化会館小ホール … 参加者42名・質問者3名

# 監査報告　平成24年第6回(9月)高浜町議会定例会

平成24年9月4日　片山　日出夫

平成23年度における高浜町の一般会計、特別会計並びに公営企業会計の歳入歳出決算につきまして、小幡憲仁監査委員とともに審査いたしましたのでその結果を報告いたします。

審査の対象は、一般会計と10の特別会計並びに2の公営企業会計、すなわち国民健康保険特別会計、国民健康保険診療所特別会計、老人保健特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計、公有水面埋立事業特別会計、宅地分譲事業特別会計、国民宿舎事業特別会計、水道事業特別会計であります。

審査の期間は、公営企業会計については6月29日から7月30日までの間、その他の一般会計と特別会計は7月31日から8月16日までの間で行いました。

審査方法は、それぞれの会計の平成23年度決算書類及び出納事務などの関係諸帳簿について、その計数、正確性を確認するとともに、適正かつ効率的に執行されたかなど細部にわたり調査、照合いたしました。

また、財政運営の状況等につきましては、例月出納検査及び定例監査の結果を参考に、関係職員にも説明を求め実施いたしました。

審査の結果、その計数はいずれも関係諸帳簿と符合して正確であり、その内容も適正に処理されていたことを確認いたしました。

それでは、それぞれの会計について報告いたします。

まず、一般会計の決算についてですが、歳入総額88億3375万905円であり、前年度と比べて8・16％の増加でありました。平成23年度においては、前年度のような国庫補助金事業に伴う補助金収入を翌年度へ繰り越すことがなかったため、収入率は98・96％となり、前年度と比べて2・45ポイント上昇いたしました。

収入済額の内訳につきましては、主なところで、個人町民税が対前年度比ほぼ横ばいの0・01％増加、法人町民税が対前年度比4・71％の増加であったほか、大規模償却資産課税分の増加により固定資産税が対前年度比3・60％の増加となっております。

一般会計全体での収入未済額は8814万7122円であり、そのうち町税の収入未済額は5,100万7113円で、徴収率は対前年度比0・34ポイント増の98・56％でした。滞納整理機構による効果が表われつつありますが、税の負担の公平を保つ点からも滞納者の状況把握に心がけ、滞納整理にさらなる努力をお願いするところであります。

歳出に関しましては、歳出総額85億5513万2282円であり、前年度と比べて9・70％の増加でありました。9212万3,150円の事業費が翌年度へ繰り越されましたが、執行率は95・96％で、前年度に比べて0・49ポイント上昇しております。不用額は歳出予算額の3・34％となる2億9808万3、568円であり、実質収支額は前年度に比べて24・14％減少の2億2396万9473円でありました。

今後、コンパクトシティー計画の実現や老朽化した公共施設の大規模改修が必要となります。国のエネルギー政策の先行きが不透明なこと、町の財政力が低下傾向にあることを踏まえ、行政の無駄を省き、効率のよい予算執行を心がけていただきたいと思います。

公営企業会計を除く10の特別会計の決算につきましては、歳入総額36億9030万8530円、歳出総額36億5082万6161円であり、前年度と比べて歳入で16・30％の増加、歳出で17・45％の増加となりました。また、特別会計全体の執行率は96・24％で前年度と比べて0・61ポイントの増加となりました。

国民健康保険税等の収入未済額の合計は5060万9484円であり、一般会計と同様に、滞納の整理にはさらなる努力をお願いしたいと思います。

また、宅地分譲事業特別会計における坂田グリーンタウンの分譲につきましては、昨年度同様、販売実績がありませんでした。宅地の評価替えに基づく適正な販売価格を設定し、早期に完売できるよう取り組んでいただきたいと思います。

財政調整基金などの基金の合計額は、平成23年度中に5726万1000円減少し、合計56億1648万2000円となりました。基金の一部で国債を購入するなど運用効率を上げることも行われております。

また地方債残高は、合計で99億9852万8092円となりました。ここ数年来の財政健全化の取組みにより残高が減少しつつありますが、平成25年度までは10億円を超える地方債の返済が続く状態であります。計画的な財政運営に努めていただきたいと思います。

公営企業会計の決算では、まず国民宿舎事業特別会計につきましては、年間利用者は1万4053人で、前年度と比べて5・62％減少しております。

この結果、営業収益は9777万8395円で、前年度に比べて0・91％減少しました。営業費用は経費抑制に努めた様子が見られますが1億571万3717円となり、前年度に比べて0・36％の減少であり、営業損失は前年度と比べて6・83％増加の793万5322円の赤字となりました。なお、一般会計から343万円の補てんがありましたので経常損失は353万5801円となりました。

現在、検討が進められている城山荘の大規模改修計画を踏まえて、既存施設における当面の経営のあり方について、国民休暇村の支配人業務委託の必要性なども含めた検討を行い、顧客サービスの向上と町財政への負担軽減という課題の解決に取り組んでいただきたいところであります。

次に水道事業特別会計ですが、使用水量は前年と比べて15・03％増加し169万2999立米となりました。年間有収率は93・40％で、前年度と比べて0・11ポイントの増加となりました。

これにより、営業収益は1億9,320万8355円で、前年度に比べて13・81％増加しました。対する営業費用は1億5924万6423円で、前年度に比べて0・02％の増加で、営業利益は対前年度比223・77％増加の3396万1912円となりました。営業外の収益・費用・特別損失を算入後の当年度純利益は3723万9405円の黒字となり、対前年度比169・00％の大幅な増加となりました。

給水契約件数、使用水量は前年を上回りましたが、近年は給水人口が減少傾向にあります。今後は、老朽に伴う施設の改修等も必要になると思われます。

水道は重要なライフラインですので、良好な状態を維持し、計画的な施設設備の更新、災害対策強化など増加傾向にある利益を活用して、経営基盤の強化に一層の努力を重ねていただきたいと思います。

なお、いずれの特別会計につきましても、企業会計の経営の基本原則である経済性を最大限に発揮させ、健全な運営がなされることを期待いたします。

平成23年度定例監査では、対象として、道の駅「シーサイド高浜」太陽光発電整備工事、高浜町し尿受入施設整備工事、難波江・小黒飯地区農業集落排水事業第1号工事（処理施設）敷地造成、雨天用屋外体育施設新築工事の4件について現地確認を実施させていただきました。

それぞれ目的を達成するために十分な施工がなされていることを確認しました。今後は適正な管理のもと、効果の高い施設の利用がなされることを期待します。

町財政全般につきましては、自主財源比率が前年度に比べて0.5ポイント低下し57・8％となり、県下の平均に近づくとともに、財政力指数は3カ年平均で0・950となりました。経常収支比率は平成19年～21年度まで99％前後の高い値が続く中、今年度は93・1％に低下しました。依然として余剰財源が乏しく、かなり硬直化した財政状態となっております。

国のエネルギー政策の先行きが不透明な中、地域経済の低迷が続き、当町においても町税を初めとする自主財源の減少、地方分権の推進による地方負担の増加など財政を取り巻く環境は年々厳しさを増してきております。

これに際し、事業評価システムの積極的な活用による客観的な事業効果の検証を行い、思い切った事業の見直しなどにより経費の削減を図るとともに、その経過や結果を町民に公表し、町民に理解していただける形で行財政の改革に取り組んでいただくことを強く要望いたします。

長期的な展望のもと状況を的確にとらえながら、これからの高浜町を担う人材育成にも積極的に取り組んでいただき、これまで以上に良質で効果の高い事業の推進に努め、健全な行財政運営の維持・増進がなされるよう期待するところであります。

以上で監査報告を終わらせていただきます。

## 町内にライブカメラを

### 答弁　セキュリティの問題で時間を要す

磯部　武史　議員

【磯部】
町内の冠水の恐れのある地点に監視カメラが設置される。
降雪時の路面状況が見れるよう、ホームページやテレビで公開できないか。
また、カメラを増設し、観光や防犯にも活かせないか。

【建設整備課長】
近年頻発する集中豪雨で、道路の冠水により事故が多発している。状況を瞬時に把握し事故を未然に防ぐため、瞬時に対応するため監視カメラを設置予定である。
町民の方々にも閲覧できるよう考えているが、セキュリティの問題があり安全に公開するためには準備に時間が必要である。

◆PET検査に助成を

答弁　前向きに検討する

【磯部】
PET検査とは、がんの早期発見・早期治療にとても有効で一度で概ね全身をチェックできるという。また、体に対する負担も少ない。
しかし個人で検査を受けるには負担が大きい。
県内では美浜町が助成制度を創設し半額程度の助成を行っている。9月から小浜病院でも検査が可能と聞く。
高浜町でも助成を行うべきではないか。

【保健課長】
国民健康保険の特定健診は今年度、健康増進計画は来年度が見直しの年となり、取り組んできた評価や課題・医療費の分析を進めている。
今後はアンケート等も実施し、PET検査についてもこの見直しを通して前向きに検討したい。

## 中小企業に0金利融資支援策を！

### 答弁　今後の状況を勘案し検討する

山本　富夫　議員

【山本】
薗部陸橋交差点の改良と薗部区内県道畑若狭和田停車場線下道から上道の道路幅員拡幅と笠原川までの延伸に伴う周辺地域の開発に対する町対応について。

【建設整備課長】
薗部陸橋交差点改良は「交差点コンパクト化」進め和田停車場線の完成の状況も含め県に改良を要望する。薗部区内道路幅員改良については「高浜町都市計画道路見直し検討業務」の中で道路の現状、住民意向等を踏まえ整備の必要性を見極めたい。

【山本】
県津波予測が発表されがコンパクトシティ構想に影響はないか。

【防災安全課長】
県発表は当町の沿岸部に1・26メートル～最大5.9メートルの高さの津波が想定。今後、すでに配布された防災ハザードマップの見直し等、住民の避難対策、防災訓練防災教育、海抜標示板の設置。「自分たちの地域は自分たちで守る」をスローガンに自主防災組織の立ち上げをお願いする。新庁舎は防災拠点として津波やあらゆる災害に十分耐える機能を備えた施設の検討を重ねていく。

【山本】
原発停止に伴う中小企業の支援策として、現在の融資制度の利子補給制度も含め0金利と保証金補助等で苦悩する地場産業の支援策を構築してはいかがか。

【まちづくり課長】
中小企業支援策として、国のセーフティネット保障制度による資金融資、高浜町独自の「高浜町中小企業振興資金融資制度」の支援で最大1千万円で融資利率の2分の1の利子補給を実施。0金利については今後の状況を勘案して検討する。

【山本】
韓国との情勢で保寧市友好は？

【永登教育長】
引続き友好関係は維持する。

## 雇用創出の方策を問う

粟野　明雄　議員

【粟野】
原子力発電所の将来像が不透明な中、将来の産業構造の指針を示す必要がある。企業誘致ならどのような業種をめざすのか、地場産業の規模を拡大するのならその方策の具体策はどうか。

【まちづくり課長】
ポスト原子力という点も考慮した産業構造の構築は大変重要であると認識している。
海外への工場移転が進む中、企業誘致することは並大抵のことではない。県の計画では、嶺南地域は、健康長寿産業と電子部品関連産業が対象業種になっている。
一次産業については、就業者数が減っているが、六次産業化をめざしたい。県、各種団体と連携し、新たな助成制度や融資制度を検討したい。

◆郷土愛の養成を

【粟野】
郷土の歴史を学ぶことは大切なことである。その成り立ちを学ぶことで郷土愛が育つと考える。ふるさとの歴史をまとめた副読本を作り、郷土愛の養成をはからないか。

【教育長】
高浜町教育方針では「学校と地域が連携し人間形成と郷土愛に満ちた心を育む」としている。町探検や特産品調べなどの活動を通して愛着を持つものと考えている。副読本は予算と資料整備が必要である。歴史や伝統文化を学び郷土愛にあふれた人材を育てていきたい。

◆郷土資料館の活用状況を問う

【粟野】
現在入場料が二百円かかっているが、無料開放しないか。

【教育長】
近隣市町の施設では、半数が無料となっている。企画展開催に合わせ無料期間を設けている。多くの皆様にご鑑賞をお願いしたい。

## 空き家活用と老朽危険家屋の対策は

### 答弁　都市計画マスタープラン戦略会議で検討

上尾　徳郎　議員

【上尾】
空き家情報バンクの開設と貸家の住環境整備の改修費助成制度を設ける考えはないか。

【建設整備課長】
現在実施している都市計画マスタープラン戦略会議にて、まちなか居住の推進を検討する中で、高浜町に合った実現可能な体制・制度を検討し取組んでいく。

【上尾】
老朽化した危険家屋の所有者に適正管理を義務付ける空き家条例を現行の「高浜町安全・安心まちづくり条例」を活用した取り組みや、その家屋の除却事業も含めて検討する考えはないか。

【建設整備課長】
空き家対策の連携・協力体制を整え実態把握し、効果的な条例が必要である。除却事業は所有者や地域住民と協働できる体制の構築を進めたい。

【防災安全課長】
「高浜町安全・安心まちづくり条例」の条項の中で対応可能でもあるので、マスタープラン戦略会議の中で検討していきたい。

◆青少年旅行村の活用を

【上尾】
青葉山青少年旅行村は教育施設として管理運営されているが、利用団体等が減少し施設・設備の老朽化や不備も指摘されている。青の里構想の拠点として有効活用する考えはないかまた、利用目的変更で制度上の問題はあるのか。

【教育事務局長】
現況は承知している。利用目的変更は町の管理条例を変更すれば問題はない。今後、幅広い活用が出来るように施設の運営方法も含め関係者等とも検討をしていく。

【町長】
青の里はじめ青葉山に関わる多くの皆さんが活動して頂く上で、旅行村は重要な拠点となる。観光施設への移行や町民サイドの管理運営も含め検討していきたい。

## 保健福祉センターの今後は

答弁　住民目線で住民福祉向上に資するよう検討している

小幡　憲仁　議員

【小幡】

コンパクトシティ計画に基づき、保健福祉センターなど分散した役場機能を新庁舎に集中させる。ねらいは理解するが保健福祉サービスの最前線である同施設から役場職員を引き上げると支障が出ないのか。また、新庁舎建設でスペースに余裕ができる同施設の有効活用策の検討が必要である。

【副町長】

保健福祉センターの機能を他施設に求めることは現実的ではなく、今後とも同施設は町民の健康な暮らしをサポートする最前線である。保健福祉センターと役場の最適な窓口体制や、和田診療所のスペース問題等を含め検討を進めたい。

### ◆小学校のエアコン設置について

【小幡】

今年も残暑の厳しい夏だった。小学校の普通教室に早期にエアコン設置が必要である。今後の設置計画を問う。

【教育委員会事務局長】

昨年度、高浜、和田小学校の設計は終了している。来年度以降、順次設置していきたい。

### ◆夏季観光の振興策について

【小幡】

高浜町の観光の柱である海水浴の振興策が必要。①陳腐化した海水浴場の施設の整備　②海水浴場の音響施設整備　③海水浴場の開設期間の延長　などに取り組むべきではないか。

【まちづくり課長】

①今年度、和田のはまなす公園にバーベキュー場を整備した。全町的に広がるよう支援する。②花火大会で音響による演出効果が発揮できなかった。実効性の高いPAシステムについて検討したい。③関係機関と連携し検討が必要。

## 鳥獣害の今後対策は？

答弁　補助金の増額

井ノ元　康夫　議員

【井ノ元】

今年春より若狭町海士坂に、嶺南地域有害鳥獣処理施設が運用開始している。町内からも保冷車による運搬が行われ、埋設処理は、各地農家組合にお願いしなくて済む為、作業が楽になり捕獲数は増えたのではないかと思う。前年費と今後の被害対策について問う。

【まちづくり課長】

処理施設の稼働率は嶺南6市町で1600頭40％、高浜町は春より101頭を捕獲したが、前年度比3.8％減と昨年より減っているが、埋設処分がなくなった為、捕獲に取り組む集落が増えている。そのため捕獲の増加が見込まれる、捕獲檻の適切な運用推進し追加導入を検討し個体数調整による農作物被害の減少に努めていく。

今後の対策として新たな捕獲方法で、シカ用小浜ビーストキャッチ（暗視カメラで監視し吊ってある捕獲網を遠隔操作で落としシカをからめ取る捕獲する方法）の導入を検討している。

低コスト、効率の高い捕獲方法である。仕組み、維持管理、移動が容易な特徴を持つ捕獲機であるが、条件として地域住民の方の捕獲、止め刺し行為の理解、設置場所選定の協力体制必要である。これらの条件が調整可能な地域においては積極的に対応をさせて頂きたい。

今後も引き続き獣害対策事業で侵入防止柵の設置、追い払い器具の購入、有害鳥獣駆除の体制整備を図る為の狩猟新規取得者への補助を行っている。来年度は餌付け報奨金を引き上げるか、捕獲奨励金的なものに予算要求して行く。

被害防止の取り組みでは各集落の協力が不可欠である。山際の草刈や、野菜くずを放置しないなど地道で継続した活動を通し関係団体と連携して被害減少に取り組む。

## 若宮海水浴場の海岸整備について

答弁　海岸保全のあり方について協議

廣瀬　とし子　議員

【廣瀬】

若宮海水浴場と、はまなすパーク（東三松）砂浜に土が混在して雑草が広範囲に生えており、海水浴場としてダメージを受けている。砂を改良する考えはないか。町民にとって自慢の景観である。町としての考えを問う。

【まちづくり課長】

若宮海岸において、草地化している海浜については、高浜漁港海岸保全区域等に在るため県事業により養浜工事をおこなっているが、草地化の原因として、砂浜の拡大により波浪が砂浜の奥まで到達せず、植物の生育環境として整っている。草地化しているゾーンは海水浴客の少ないところが多く、踏み荒らしがないため植物が定着しているものと考える。人や車の踏圧の影響を受けないところが植物群の共通した生育環境となっているが、海浜植物の保全と、海岸環境や海岸利用双方に配慮した対応を考えていく必要があると考えている。

### ◆避難通路について

【廣瀬】

高浜町は高齢者の方も多く災害時に高台や町の中心に移動する場合が多くなり、避難通路として是非とも高浜駅の横から駅裏に跨線橋となるものを設置する必要があると思う。町民の避難通路として、安全を守るためにも絶対必要である。町の考え伺う。

【建設整備課長】

平成16年高浜駅改築時に検討委員会において検討されたが、用地・安全確保の課題、高額のコストに対する効果の問題があり実現できていない。昨年度策定した「都市計画マスタープラン」において災害時に円滑な避難や輸送が出来る道路網の整備を図り、現況に合った跨線橋及び自由通路の再検討をすすめる。

## 小規模工事登録制度をつくれ

渡邊　孝　議員

【渡邊】

長期不況のなか、町内中小業者への対策として「小規模工事登録制度」の採用を提案する。

これは、地方自治体が発注する工事（主に修繕、改善等）について、一定金額以下（例えば50万円以下）のものは入札によらずに、あらかじめ登録していた中小業者に随意契約で発注する制度である。

町内中小業者への発注は、地域にお金を回し、経済循環を活発にするうえからも大事である。見解をもとめる。

【副町長】

町は、一定額を超える工事は競争入札で発注し、特別な事由がある場合は、随意契約で発注している。小規模な維持・修繕工事については町内小規模事業者へ随時発注している。「小規模工事登録制度」は、登録時の書類作成手間や、税の完納要件、資格が必要な業種の制限などの問題がある。

### ◆延滞金について問う

【渡邊】

町税の滞納者や、分納している人は、もともとなんらかの理由で期限までの納入ができないのである。こうした納税者にたいして「延滞金」を徴収することは酷である。「延滞金」の減免制度をつくるべきではないか。

【税務課長】

法令等により、本税の減免や納税の猶予等の規定があり、こうした制度の活用により納税者の状況に応じた対応が可能であると考えている。減免制度をつくることは考えていない。

## 地域再生への新たな解決策は

### 笞弁「まちづくり施策」を推進

勝本　繁昭　議員

【勝本】

活気のない町が長期間続けば、共同意識の再生・見直しどころか、地域の活性化や再生は望めないであろう。そこで、コミュニティデザイナーによる「まちづくり会議」といった取組をしてはどうか。

【副町長】

まちづくりの先進的コーディネーターやコンサルタントなどの指導や協議を重ねたが、不十分な点もあった。そこで、地域資源の掘り起こしを実施し、自分達の町への期待や可能性について意見を出し合うワークショップを重ねた。

「和田de路地祭」でのつながりや「青の里構想」などが高浜町の中心部分の見直し再整備を検討するという「コンパクトシティ構想」と合致していると考えます。今後とも関係機関と連携して「まちづくり施策」を推進していきたいと考えている。

◆宝物を大切に

【勝本】

城山公園は戦国時代の高浜城跡である。このような歴史に残る宝物を大切にして城山公園の魅力を発掘し全国に発信していき、何度も訪れたくなる城山公園作りを考える必要があるのでは。

【町長】

高浜町のランドマークともいえる城山公園については、町民が対外的にも誇れる魅力を有しており、コンパクトシティ計画のなかで再整備エリアと位置づけている「城山荘」の建替えや隣接する高浜漁港の再整備などの検討もしている。当初の計画を見直し直接城山公園へ出向き公園を見直すきっかけ作りや改善点を探りたいと考えている。

## 予算決算常任委員会

委員長　西出　秀雄

◇9月10日（月）～9月12日（水）

**審議事項**

付託案件の審査

●認定1号

平成23年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定

【補正予算の概要】

歳入総額88億3375万905円、歳出総額85億5513万2282円となり歳入歳出差引額は2億7861万8623円となった。内容については監査委員の報告を受けて審査した。

【審議（質疑）の概要】

◆総務費

**街灯費助成についてとLED化の進捗は。**

建設整備課

年間40灯を目標で残り8年間実施。LED化には多くの予算が必要で出来るだけ早く行う予定。現在26区への補助が完了。

**まちの駅、指定管理料は高くないか。**

まちづくり課

財政減の中、少し下げる方向で検討する。

◆衛生費

**妊娠期の異常等について支援が必要では。**

保健課

町として保健師を派遣し、対応している。

**任意の乳幼児・児童予防接種事業については公費で、個人の負担を無料にしたらどうか。**

保健課

個人負担は10％で、国の動向を見ながら来年度の予算編成に向けて検討。任意接種は一部負担である。

◆総務費

**企業誘致について、用地の不足や確保は。**

まちづくり課

県と連携して町有地、高森等を活用。町ホームページ等で広報する。





**オンデマンドバス利用状況と料金、時間の延長の考えは無いのか。**

まちづくり課

現在3台運行し、1日平均7～8件で多い日は20件以上の利用がある。

料金は1回300円。今後土、日、夜間の運行は検討する。

**冬場の通学について歩道の積雪は危険である為バス利用できるのか。**

**六路谷方面の利用は。**

教育長

オンデマンドバス利用可能。

積雪時の対策は、まちづくり課と協議する。

◆総務費

**駅前の看板の更新は。**

まちづくり課

平成21年度から予算89万円で実施。年13回交換している。

◆商工費

**道の駅温浴施設について老朽化が進んでいるが今後の対策は。**

まちづくり課

前年対比70％の利用で営業開始10年になる。今後小規模の修理、リニューアルは検討する。

◆土木費

**城山海岸の浜灯は、照度が弱く評判も悪く防犯灯としても期待外れであり次回からの設置には多くの疑問を呈していると思うが対策は。**

建設課

意見をしっかり受け止め検討する。

◆衛生費

**不燃物処分地の修理費は。**

**今後、新処分地の検討は。**

住民課

汚染防止の凝集膜交換費。

副町長

新処分地は今後1市2町の広域で検討する。

**歳入について滞納町民税の回収は。**

税務課

1100万円を滞納整理機構で回収。実態に合った形で対応している。

【賛成多数で認定】

◇9月10日（月）

**審議事項**

付託案件の審査

●議案第55号

平成24年度高浜町一般会計補正予算（第2号）

●議案第65号

平成24年度高浜町一般会計補正予算（第3号）

【補正予算の概要】

歳入歳出それぞれ

（第2号）348万1千円と、

（第3号）523万2千円を追加し、総額79億2695万9千円。

【審議（質疑）の概要】

◆防災費・教育費

**県の緊急雇用対策事業費、6市町分で高浜町分2700万円の予算で、県からの内訳は、計画申請をしたのか。**

副町長

県会の6月補正で決定、各課に説明計画申請が短期間で、6ヶ月分しかなく、シルバーへの委託には不可で、ハローワークへの登録者等、利用が短いので不可。深く反省している。今回は24年度だけの予算で、防災費の要支援の調査費2名分と教育相談員4名分で523万2千円の補正になった。

多くの委員から…

国・県の予算の情報を早く入手し経済対策、住民の雇用、観光対策を打つべき。

25年度予算に計画、申請し強く国・県に要望する意見が出た。

◆民生費

**青郷保育所の改修について**

保健課

全面改修で行う。トイレ、給食室、教室等の増築工事を行う。耐震は問題なく、工事中は仮設の建物で保育する。

**歳入で普通交付税が減となっているが。**

税務課

町民税3000万円増、大型固定資産税等の増加により普通交付税が減となった。

◆土木費

**住宅改修費補助について**

建設課

年間30件の予算、申請枠の増加は財政状況を考慮し検討する。

【全員賛成で可決】

## 総務産業常任委員会

委員長　磯部　武史

◇9月13日（木）

委員全員出席の下、当委員会に付託された議案16案件について審査した。

**議案第60号**

■平成24年度高浜町国民宿舎事業特別会計補正予算（第1号）

【全員賛成で可決】

**認定第12号**

■平成23年度国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

**認定第7号**

■平成23年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

**認定第9号**

■平成23年度高浜町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

**認定第13号**

■平成24年23年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

**認定第10号**

■平成23年度高浜町公有水面埋立事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

**認定第11号**

■平成23年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

**陳情第7号**

■地方財政の充実・強化を求める意見書採択

昨年もほぼ同様の意見書を採択しており今回も採択すべき。

【全員賛成で採択】

## 厚生文教常任委員会

委員長　横田　則孝

◇9月14日（金）

**審査事項**

付託案件の審査

**●議案第56号**

■平成24年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）

臨時職員の賃金減額と看護職員の人員体制について

臨時職員が一般職に採用され、看護職員3名と臨時職員1名となっている。

【全員賛成で原案可決】

**●議案第57号**

■平成24年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

【全員賛成で原案可決】

**●議案第58号**

■平成24年度高浜町介護保険特別会計補正予算（第1号）

【全員賛成で原案可決】

**●議案第64号**

■高浜小学校、高浜中学校プール改修工事請負契約について

【全員賛成で原案可決】

**●認定第2号**

■平成23年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で原案認定】

**●認定第3号**

■平成23年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で原案認定】

**●認定第4号**

■平成23年度高浜町老人保健特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で原案認定】

**●認定第5号**

■平成23年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で原案認定】

**●認定第6号**

■平成23年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

介護認定審査会について

認定審査会は、小浜で週に2～3回開催され、高浜町からは医師や福祉、介護関係者が出席され、任期は2年間である。

【全員賛成で原案認定】





## 地域医療対策特別委員会

委員長　廣瀬とし子

◇9月18日（火）

町長・保健課長・課長補佐・地域医療推進室より2名出席のもと、高浜病院の譲渡について。

**◆今までの経過と今後の方針**

町長から説明を聞き意見交換を行なった。高浜病院は国から独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（RFO）に所有が移り現在は全国社会保険協会連合会（全社連）が運営されている。今迄厚生労働省、全国社会保険協会連合会、そして指定管理者として候補に上げていた「地域医療振興協会」などあらゆる関係機関と協議を重ね、高浜町が設置者となる可能性を模索してきたが、現時点ではその可能性は非常に厳しい状況になってきた。あらゆる条件は揃いつつあったが、一番の課題である条件、今後主軸となっていただける医師を見つける事ができなかった。現段階においては高浜町が譲渡等介入できない。難しい状況にある。引続き、様々な課題の解決を目指しその努力を続けていくが、今後は医師の確保が先決第一条件である事を再確認した。高浜病院の存続のために後任院長の確保に全力をあげたが、運営母体との協議で折り合いがつかず、平成26年4月からの運営開始に向けた譲渡は断念せざるをえない。今後は当面の病院支援策の検討を始める。病院支援を進めるとともに、将来的な譲渡も視野に入れ検討を続けていく。

**◆意見交換**

高浜病院の存続はできるのか。地域医療はどうなるのか。町民はますます不安が高まっている。今後の対策もあらゆる方法と手段で考える必要がある。高浜病院が核となり、福祉・介護との連携も必要である。全国的にも医師不足がつづいているが、高齢者が増えつつある現状を踏まえ町民の不安を解消するためにもあらゆる医療関係に働きかけていかなければならない事を確認した。

## 鳥獣害防止対策特別委員会

委員長　山本　富夫

◇9月18日（火）

◇会議場所　役場3階会議室

◇視察先　横津海地区・和田地区

委員会は、鎌倉地区で井ノ元副委員長が実施した。捕獲檻でイノシシを捕獲した方法の撮影ビデオ鑑賞を行った。大変有効な捕獲方法で、獣害の捕獲マニュアルの教材になると評価され、高浜でこの捕獲方法が実施されるよう意見が出された。また、4月に供用開始された嶺南有害鳥獣処理施設の運行状況の説明があり、順調に処理頭数も増加状況であることを確認した。

イノシシ捕獲

視察先として、横津海地区で実施された中山間地域総合整備事業が終了し、鳥獣害侵入防止施設（恒久柵）の設置状況と対策効果について関係地係の皆さんから意見聴取した。今のところイノシシ・鹿については防止効果があるとの確認をした。

横津海地区恒久柵

つづいて和田地区で実施された県営経営体育成基盤整備事業の状況と獣害防止対策として設置されたネット柵について現地確認を行った。事業費がかさむことから、地域の方々による施工を実施され約600万円のコスト縮減を図ったようである。24年度は、弥陀・片間、25年度は、馬居寺・片間で施工予定であることを確認した。

和田地区ネット柵取付け

## 原子力対策特別委員会

委員長　上尾　徳郎

◇9月19日（木）

### ◆関西電力
### 中央給電指令所視察研修

**●中央給電指令所**

電気の流れを監視・管理。リアルタイムの需要に対し発電所の発電量を調整する指令を休みなく出し、発電設備の修理や点検の時期を、需要予測をもとに計画的に調整するなどの概要説明又、トラブル発生時の待機発電所の稼動や緊急電力融通要請などの訓練を見学した。

質問で調整電源が火力頼みでピーク時にはフル稼働で乗り切った、点検時にも融通電力が必要。大飯の再稼動により今夏は乗り越えたなどの回答があった。

中央給電指令所

**●今夏の電力需給状況**

各事業部から今夏の需給状況の説明を受けた。毎日の「でんき予報」の予想と実績（最大使用量と最大電力）90～95％を超えた日が4日あった。

節電要請前H22年と比較して14～15時の最大電力比較では平均で300万kW（約11％）減少し節電効果があった。家庭用では約9％業務用（スーパー等）約11％産業用（12％）の減少、大阪の気温・猛暑日・熱帯夜とも低めだが去年よりは高い傾向であった。企業や家庭向けに節電プランをたて節電をお願いし関心も高く協力頂いた。

今夏の需要実績でみた大飯3・4号機の再稼動がなかった場合の試算では95％以上が3日90％以上が18日となる。結果データー的には足りたがトラブルに控えた電力を考えると厳しいものである。

節電協力アンケートによると、電気代節約・計画停電・電気不足が約80％減原発の為は8％である。委員から資料の詳細質問や火力発電・揚水発電・融通電力・$CO_2$排出などの質問があった。

### 「革新的エネルギー・環境戦略」の見直しに関する意見書提出について

9月19日の視察研修の車中に於いて、政府の新たなエネルギー戦略決定に対し、福井県議会の「拙速な原子力政策の中止を求める意見書」の採択を踏まえ、委員会としての意見書の扱いについて協議したが、翌日20日に、新たなエネルギー戦略の国による説明会があるので説明を聞いた後、原案を用意して原対特別委員会を開き検討することになった。

9月20日午前中、資源エネルギー庁による革新的エネルギー・環境戦略についての説明会が町長、副町長、関係課長、議員が出席して開かれた。環境戦略について説明を受け、質疑応答がなされた。

20日午後より、意見書提出について協議した。提出については、全員出すべきであるが、原発反対の立場で出すべき、時期を慎重に判断すべき、嶺南立地市町と歩調を合わせるべき等の意見があったが、提出の方向で意見書原案の協議に入った。他の市町の意見書も参考にしては、昨年の意見書を踏まえての意見書とすべき、使用済燃料の問題を組み込むなどの、協議の結果、再度意見書を書き直し21日に協議することになった。

21日午前　修正した意見書について協議し、一部再修正を加え概ね同意を得た。

**渡邊　孝委員**

**教意見書提出に際し未だ終息を見ない、昨年3・11の福島原発事故に対する委員長としての見解は。**

**上尾徳郎委員長**

いわゆる、安全神話は崩れ世論が反原発に向かった。政府の対応のまずさもあり風評によって瓦礫の処理も進まない状況の中、同じ立地の町として受け入れも決めた。国が責任を持って終息を実現せよとした昨年採択した意見書を踏襲したこの意見書を提案したい。

【賛成多数で採択】





## 質疑　議案第65号
## 平成24年度高浜町一般会計補正予算（第3号）

**山本富夫議員**

**①緊急雇用創出補助金で、この防災対策事業は、何か問題点があった為にこの予算を補正したのか、国・県からの指導なのか動機について説明を。**
**②高浜町のいじめの現状報告を。**
**③高浜町に交付金で財源的に支障はないのか。**

**副町長**

①町内に1200名ほどの災害支援要援護者の個別事情を調査するため。

**教育委員会事務局長**

①、②現在教育会館2階に5名の相談員を派遣している。新たに高浜中に2名、はまなす教室に1名を追加し計3名を新たに増員し相談体制を強化する。いじめ問題の事例は今は小さいが今後発展する可能性がある為相談体制を強化する。

**副町長**

③町財政に対して特に問題はない。

**小幡憲仁議員**

**緊急雇用対策事業は発電所停止中で雇用や旅館など影響のある方の為の補助金と思うが、この事業はその方々とリンクし目的を達しているのか。**
**また影響のある中小企業への融資などには利用できないのか。**

**まちづくり課長**

県と協議しているが、間接的な短期事業である。様々な規定があり継続した雇用には結びつかない。制約された委託業務を対象とした補助金である。

ハローワークを通して中小企業安定補助金、雇用調整補助金などがあり、利用しやすいように要望しているが要項が厳しい。

**粟野明雄議員**

**この事業での採用は町内の方を採用されるのか。**
**休業すれば補助されるなど、いろいろな制度があると思うが、広報など周知されているのか。**

**まちづくり課長**

地元の方に働いてほしいと思うが、ハローワークを通して新たな募集をする為、地元の方の応募がないといけないし、審査次第である。

町ホームページなどで広報している。また職業安定所、職業安定協議会などを通じて広報しているし相談案件もある。今後も中小企業への安定補助金、雇用調整補助金など活用を広報していく。

**上尾徳郎議員**

**教育相談員はハローワークを通して説明があったが、相談員は地元の事情を理解された方が適任であると思うが、子供達が安心して相談ができる方がおられるのか。**
**また短期では子供たちの相談は責任を持って受けられないではいか。そのため長期に雇用出来ないのか。**

**教育委員会事務局長**

相談員の資格と公募の方法は、広くハローワークを通じて募集するが、高浜町の方を優先する。免許、資格など経験を積んだ方が望ましい。

**渡邊　孝議員**

**雇用喪失事業とは、原子力発電所の停止に伴う失業対策で嶺南6市町に限り1億2千万円の事業の説明であったが、今回限りなのか。この補助金の期限が終了した後は町単独で雇用していくのか。**

**まちづくり課長**

短期の雇用創出補助金として県から高浜町は2700万円の配分枠であり今年度限りである。

継続する雇用はそれぞれ所管課の考え方がある。

## 討論　認定第1号
## 平成23年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定

### 反対討論

渡邊　孝議員

平成23年度一般会計決算は、歳入総額88億3375万905円、歳出総額85億5513万2282円で翌年度繰越金を除いた実質収支額は、2億2396万9473円の黒字となった。実質単年度収支も3億6344万5132円の黒字となった。原発による補助金が52・6％と多くその補助金によって行くことは原発の先行きが不透明で非常に危険であり不安定である。

歳出に関しては多くの評価する事業があるが、コンパクトシティ

事業の内、役場新庁舎の建設については、現在の庁舎を耐震補強して使用するべきである。

**賛成討論** 粟野明雄 議員

原子力関係の財源は減っても、地方交付税が増える、どちらも国の財源である。原子力の財源も地方の自主財源である為、歳入も健全なものだと思う。

歳出に関して新庁舎の調査費用を認め住民の意見を聞きながら進める意見書を提出しているので、妥当だと判断する。

## 討論 認定第10号 平成23年度高浜町公有水面埋立事業特別会計歳入歳出決算認定

**反対討論** 渡邊 孝 議員

当事業については青戸埋め立て事業で借りた資金の元利償還である。埋め立ては完了しているが、私は埋め立てるべきではなかったとの信念を貫くため反対する。

**賛成討論** 山本富夫 議員

脇坂の土砂崩れなど民生安定の理由で県の事業を有効利用する目的で実施された事業であり償還されている、最後まで取り組んでほしい。

今後も高浜町の資産として町民に有効利用出来るようにして頂きたい。

## 討論 認定第13号 平成23年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定

**反対討論** 渡邊 孝 議員

町民からの加入金は資本的収支でなく、営業利益として収益的収支に入れるべきである。平成23年度は、308万7000円が営業収入ではなく建設改良費の一部として支出された。

**賛成討論** 山本富夫 議員

行政の取っている会計手法は正しい。

## 討論 発意第8号 「革新的エネルギー・環境戦略」の見直しに関する意見書の提出

**反対討論** 渡邊 孝 議員

政府は昨年3月の福島原発事故以来エネルギー環境会議を実施し今後のあり方を国民に意見を求めて来た、結果多くの国民が原発0を求めたのである。その結果を受けて打ち出したものが環境戦略である。この意見書は昨年9月の意見書同様一定程度の原子力発電比率が必要であると求め、原発を稼働せよというものである。原発は撤退すべきである。

**賛成討論** 大塚ひとみ 議員

大飯原発の再稼働で、野田首相は「原子力発電を今止めてしまっては日本の社会は立ちいかない」と述べられた。しかし原発0が唐突に発表され、その中身は料金の値上げによる国民負担や経済全体に及ぼす影響、また高水準の省エネルギーを実現する解決策や道筋が何ら明らかにされていない。最終処分地の解決策を含め矛盾だらけで国際的にも波紋を拡げている。パブリックコメントなどの意見を重視し立地自治体の意見は素通りしている。

エネルギー政策は、国の最重要事項である。国民生活に及ぼす影響をしっかり見据え決定するよう強く求める。

### 傍聴にお越しください

傍聴の手続きは、議会事務局で
住所・氏名・年齢を記入していただくだけです。
次回定例会は12月です。お待ちしております。
高浜町議会事務局　☎0770 (72) 7710





議会をチェックするのはあなたです

# 町議会 出前報告会

批判や意見、提言など
自由なご意見をお聞かせください。

## 皆さんの声を町政に！

**今回のテーマ**

**「第112号 議会だより」を参考に意見交換します。**

その他、町民の皆様の町政に対するご意見を伺います。

**11月7日（水）**
午後7:30～9:00
**2会場同時開催**
会場1／会場2

会場1／高浜文化会館

出席議員 ・粟野副議長
・山本議員 ・横田議員 ・清常議員

会場2／内浦公民館

出席議員 ・的場議員
・勝本議員 ・磯部議員 ・廣瀬議員

どの会場でも自由にご参加ください。

**11月9日（金）**
午後7:30～9:00
**2会場同時開催**
会場3／会場4

会場3／保健福祉センター

出席議員 ・粟野副議長
・渡邊議員 ・小幡議員 ・井ノ元議員

会場4／青郷公民館

出席議員 ・的場議員
・西出議員 ・上尾議員 ・大塚議員

# 大盛況でした！

## 第4回 和田de路地祭

### 和田路地宣言　路地を歩けば一期一会

9月16日（日）17日（月・祝）の両日、和田まちなかに於いて「和田de路地祭」が開催された。

16日2000人（長街宴500人）、17日1000人、合計3000人。地元はもちろん県内外から昨年を上回る来場者があり、大盛況のうちに幕を閉じた。

今年は初参加の絵画や写真展を含む18の民宿ギャラリー、小学6年生企画の子ども屋台、ガレージセール、リキシャに加え、初めて馬車がまちなかを通り、夜になると路地に60mの食卓が並ぶ長街宴、コンサート、ファッションショー…。盛りだくさんの内容で、来場者の心を魅了した。

まちづくりは、コミュニティーづくり。この祭りはまさに、和田に生まれ、育ち、和田好きが集まり、民宿遺産を活かした路地を舞台に独自の文化や環境の魅力を再発見し表現。「総動員！」を目指して、地域住民同士のつながりを取り戻し、和田の素晴らしさを子ども達に伝えていく。町外の若者へ和田の暮らしの楽しさを発信し、持続力あるコミュニティを育てていくイベント。回を重ねるごとに一歩ずつ、大きく輪が広がっている。

古着をリメイクした、エコな手作りファッションショー

街中を馬車で

童謡唱歌

子ども屋台

**インタビュー**
実行委員長 海本誠一さん

「今回は子ども達にびっくりした。

去年、一昨年は大人が準備をした〝灯ろう作り〟に参加するだけだったが、今年は自分達で屋台をさせてほしいとの事。4月から企画、計画のすべてを自分たちの手でやってのけた。ミニ水族館や貝殻アクセサリー、浜の砂を使ったサンドアートなど。地区に溶け込んでふるさとを愛する心を養ってほしいと願う先生方との思いが重なった。

いずれは和田を離れる子ども達にとって、大きくなっても忘れないだろう。それが嬉しかった」

と目を細めながら話してくださった。

文責　大塚ひとみ

## 編集後記

9月定例議会は、残暑厳しい中での開会でしたが閉会時には秋の訪れを感じるような涼しさのなかで終えました。決算議会とあって執行された予算の事業評価を含め真剣な議論が交わされました。また、政府が示された「革新的エネルギー・環境戦略」に対して立地の立場で見直す意見書が採択されました。再稼働を含め、日本のエネルギーをどう賄っていくのか、日本全体の経済・生計バランスを構築した中で、判断して頂きたいものです。

さて、町民の皆さまからの声として、高浜の経済が先行き不透明であることを危惧されたご意見を多くお聞きます。議会も、皆さま方の意見の集約場として「議会出前報告会」を11月に開催予定であります。この機会に町民の皆さまの多くのご意見を賜りますようお願いいたします。ご参加いただければ幸いです。

文責　山本　富夫

広報特別委員会
委員長　井ノ元康夫
副委員長　上尾　徳郎
委　員　大塚ひとみ
廣瀬とし子
山本　富夫
西出　秀雄